

単元名 『Lesson 3 Hello, Everyone』（第1学年） 全7時間計画

単元のねらい

アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書くことができる。

単元構想の意図

本単元は、自己紹介や自己紹介からのやり取りをする活動を繰り返し行うことを通して、ALTの母から届いた手紙に自己紹介が中心の手紙(返事)を書くことができるようにするよう構成しています。つかむ過程では、ALTの母からの手紙をモデルとして読み、自分の書く手紙にどんな内容が書けるか考えます。追究する過程では、新出表現を積み上げながら、自己紹介と自己紹介からのやり取りする力を高めます。まとめる過程では、実際にALTの母に手紙を書くという**オーセンティックな言語活動***をすることで、生徒が、実在の相手に自分が伝えたいことを英語で発信できた達成感を得られるよう構成しました。

*** 英語を使う必要のある実在する相手と、実際の目的をもって行う言語活動**

過程	主な学習活動	めあて提示の工夫と主体性の喚起
つかむ(1)	<p>1. どんな内容の手紙を書けばよいか、考える</p> <p>○単元の「めあて」をつかむ。</p> <p>アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書こう。</p> <p>○自己紹介の原稿を書く。</p> <p>○ペアで原稿を読み合い、修正する。</p> <p>○ALTの母親の手紙を読む。</p> <p>○自分の手紙と本物の手紙を比較してどんな改善ができるか考える。</p> <p>S:年齢や出身地も書けそうだ(Be動詞文の気付き)⇒2へ S:質問文も入れてみよう⇒3へ</p> 	<p>ALTの母から生徒たちに手紙が届いていることを伝え、返事を書くことへの必要感をもたせる。 ALTの母へ返事を書くことへの意欲を喚起する。</p> <p>単元の「めあて」に向けて</p> <p>手紙の中心内容となる自己紹介文を修正する活動を通して、既習の英語で表現できることと、表現したいけれどできないことを感じさせる。</p> <p>モデルとしての本物の提示</p> <p>ALTの母本人が書いた手紙を読ませ、返事を書く期待感を高める。 ALTの母の手紙と自分の自己紹介文を比較させることで、どんな改善ができるか具体的に考えさせる。</p>
追究する(3)	<p>2. 一般動詞やBe動詞を使って、自己紹介をする</p> <p>○ALTの自己紹介を聞き、自分の自己紹介文と比較する。</p> <p>○自己紹介文を付け加え、自己紹介をする。</p>  <p>3. ALTの自己紹介に対して、質問をする</p> <p>○ALTの自己紹介を聞く。</p> <p>○興味のある事柄について質問し、疑問文を作る。</p>  <p>※英文の積み上げシート</p> <p>4. グループで自己紹介をし合い、問答する</p> <p>○ALTとJTEのデモンストレーションを見る。</p> <p>○デモンストレーションを参考に、自己紹介をし合い、お互いに簡単なやり取りをする。</p>	<p>新出表現への気付きの促し</p> <p>ALTの自己紹介の内容から、Be動詞の表現に気付かせ、自分の自己紹介の内容に新しい情報を付け加えさせる。</p> <p>本当に聞きたいことを質問する活動</p> <p>ALTの自己紹介に対する質問文を作ることを通して、ALTの母への手紙文に付け加える質問内容を考えさせる。</p> <p>デモンストレーションの必要性</p> <p>ALTの自己紹介と、その後のJTEとのやり取りを見せることで、自然なやり取りやリアクションへの意識付けをして、その後の会話活動や学習の見通しをもたせる。</p> <p>中間評価</p> <p>言語活動の途中で、模範となる生徒をモデルとして示すことで、生徒一人一人の活動の質を高める。モデルとなる生徒は、めあてに沿って活動している生徒とする。</p>
まとめる(3)	<p>5. 聞きたいことも含めて、ALTの母に手紙を書く</p> <p>○再度、ALTの母の手紙を聞いたり、読んだりする。</p> <p>○質問文も含めた返事の手紙を書く。</p>  <p>6. 友達の自己紹介文を読んで、よりよい自己紹介文にする</p> <p>○グループで紹介文を読み合い、修正をする。</p> <p>○相手を意識した内容になるよう考える。</p> <p>7. ALTに自己紹介をして、英語でやり取りをする</p> <p>○パフォーマンステストをする。</p>	<p>オーセンティックな言語活動</p> <p>単元末にオーセンティックな言語活動を設定することでこれまでの学びが生かした充実感、達成感を味わわせ、今後の学習への意欲を高める。</p> <p>本物の相手を意識した手紙文の修正</p> <p>読み手となるALTの母を意識させ、「文字の大きさ」や「伝えたい内容」、「文章の順序」等を考えさせ、よりよい返事を書かせる。</p> <p>単元の学びの自覚</p> <p>言語面と内容面で振り返りを行い、何ができるようになったか、新たに気が付いたことは何かを自覚させる。</p>

指導例：『Lesson3 Hello, everyone.』（第1学年 第1時）
『アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書こう』

指導のポイント

1 あいさつ・帯活動を行う。

- お互いに自己紹介をして、英語でやり取りをする。
- S 1 : Hello. My name is
- I like soccer. Do you like soccer ?
- S 2 : Yes, I do. I like soccer, too.
- S 1 : Oh, you like soccer, too.

単元のめあてに迫る帯活動

- やり取りが継続できるよう、リアクションの表現を確認させる。

2 単元のめあてをつかむ。

めあて アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書こう

- ALTの母から生徒宛に手紙が来ていることを知る。
- 初めて書く手紙なので、自己紹介が中心であることに気付く。

オーセンティックな言語活動と提示の工夫

- 単元のゴールに、本物の相手、本物の目的を設定し、英語を使う必然性がある活動となるようにする。
- 本単元の学習に、生徒が興味や期待感、そして見通しのもてる「めあて」の提示をする。

3 本時のめあてをつかむ。

めあて どんな内容の手紙を書けばよいか、考えよう

4 本時の活動に取り組む。

- 既習表現を使って、自己紹介の原稿を書く。

生徒が書いた文例

- ペアで自己紹介をし、お互いの原稿を読んで修正する

生徒が修正した部分

I like cat. → I like cats.

Hello.
My name is
★ I like cat.
I like tennis.
I play tennis every day.

- グループで、原稿を基に自己紹介を行う。

- ALTの母からの手紙を読む。

- 自分の書いた手紙と本物の手紙を比較して、どんな改善ができるか考える。

ALTの母親からの実際の手紙

- T : みんなが書いた自己紹介は手紙の内容として十分ですか？
- S : 十分ではない。
- T : どんな改善ができそうですか？
- S : 「年齢」「出身」が入れられます。
- : 住んでいる所が入れられます。
- : 今まで習った動詞等を使えば、もっと書けそうだ。
- : 最後に書いた日付を書きます。
- : 質問を書いてもいいのですか？
- T : 沢山のことに気付いたね。では、この単元を通して、「年齢」「出身」の言い方や、質問の仕方等を勉強していきましょう。

Hello, everyone.
My name is Ellen.
I am Mary's mom.
I am a professional figure skating coach.
I am 60 years old.
I am from America.
I live in Florida, in the USA.
I like dogs and cats.
Do you like animals ?
Nice to meet you.
May 22, 2018
Ellen Smith

既習表現の想起〔復習〕

- 小学校での学びやこれまでの既習表現を想起させる。

相互での原稿の読み合い

- 一般動詞の用法や複数形等の視点をもたせながら読み合いをさせ、互いに改善点を指摘させる。

よいモデルとしての本物の提示

- 期待感が高まるよう手紙を提示する。
- ALTの母の手紙と自分の手紙を比較させ、改善点を考えさせる。
- 改善することが、これからの学習につながっていくことを伝える。

振り返りの工夫

5 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

- 本時の学習において、「できるようになったこと」「気が付いたこと」を中心に、振り返りシートに記入する。

- S : これまでの学習を振り返ることができた。[言語面]
- S : 「年齢」や「出身」のことも伝えたいと思った。[言語面]
- S : 手紙にどんなことを書いたらよいか、見通しがもてた。[内容面]
- S : メアリーのお母さんのことがよく分かった。[内容面]

- 次時で、「年齢」や「出身」などの表現の仕方を学習することを知る。

- 「できるようになったこと」や「気が付いたこと」を中心に、言語面と内容面で振り返りをさせる。

指導例：『Lesson3 Hello, everyone.』（第1学年 第3時）
『アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書こう』

指導のポイント

1 あいさつ・帯活動を行う。

- デモンストレーションを見て、会話活動のやり方を確認する。
- 既習の疑問文(Do you ~? Are you ~? 等)を使用して、会話活動を行う。

単元のめあてに迫る帯活動

- 会話活動をする中で、お互いに会話の内容に関わる質問をするよう助言する。
- 単語だけの質問でもよしとする。

2 本時のめあてをつかむ。

- ALTの自己紹介を聞き、キーワードをメモする。(リスニングメモ)
- JTEの質問文(Do you ~? Are you ~? 等)を聞き、やり取りの仕方を見る。

JTE: Now, Mary will introduce herself. Please listen and write your memos on your sheets.

ALT: (自己紹介をする。)

S: (聞き取れたことをメモする。)

JTE: Mary, I will ask you some questions.

Do you have a dog?

ALT: Yes, I do.

JTE: How many dogs do you have?

ALT: I have one dog.

めあて ALTの自己紹介に対して、詳しく聞きたいことを質問しよう

本時のめあてに迫るデモンストレーション

- デモンストレーションで様々な質問を聞かせる。
- 何人かの生徒にもモデルとなってもらおう。
- 既習事項を想起させる。

3 本時の活動に取り組む。

- ALTの自己紹介を再度聞いたり、自己紹介文を読んだりして、その内容から興味のあることについて質問文をつくる。

JTE: Please listen to Mary's introduction again and write your memos on your sheets.

S: (再度、聞き取れたことをメモする。)

JTE: Next, please read the introduction and make the questions for Mary.

S: (メモや自己紹介文を参考にして、質問文を作る。)

生徒が書いた文例 : Are you a baseball fan?

: What Japanese food do you like ?

- グループ活動で各自が作った疑問文を検討し、ALTに質問する。

JTE: Please read their question sentences and find the mistakes.

S: (各自の疑問文を読み合い、間違いを修正する。)

JTE: Please ask your questions to Mary.

S: Do you play basketball?

ALT: No, I don't.

S: Oh, you don't play basketball?

本当に聞きたいことを質問する活動

- ALTの自己紹介と関連した質問を考えさせる。
- 聞きたいことについて、既習表現を使って、質問文を作らせる。
- 単語だけの質問でもよしとする。

グループ内での質問確認

- グループ内で、各自が作った疑問文を修正させ、会話の流れに沿って質問をさせる。

4 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

- 本時の学習において、「できるようになった」ことを中心に、振り返りシートに記入する。

S: Do you ~? や Are you ~? を使って質問できた。[言語面]

S: 会話の流れに沿って、質問できた。[内容面]

S: 聞き取ったり、読み取ったりする時にはキーワードが大切だ。

[内容面]

S: ALTの自己紹介の内容が、聞き取れた。[言語面]

振り返りの工夫

- 「できるようになったこと」や「気が付いたこと」を中心に、言語面と内容面で振り返りをさせる。

指導例：『Lesson3 Hello, everyone.』（第1学年 第5時）
『アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書こう』

指導のポイント

1 あいさつ・帯活動を行う。

- ペアを替えながら、お互いに自己紹介と Q&A を行う。
- 活動の途中にモデルとなる生徒のデモンストレーションを見る。

単元のめあてに迫る帯活動

- お互いの自己紹介と Q & A が、書く手紙の内容につながるようにする。

2 本時のめあてをつかむ。

- ALT の母からの手紙文を聞き、本時のめあてを確認する。
T : You got this letter from USA. Who is this letter from?
S : Ellen Smith.
T : Yes. Who is Ellen Smith?
S : Mary's(ALT) mother.
T : Yes. What did she write ?
S : She is from America.
T : Today you will write a letter back to her. OK?

「本時のめあて」につなげる手紙の再提示

- 本物の手紙を提示することで、英語で返事を書く意識を高める。
- やり取りしながら提示する。

めあて 聞きたいことを含めて、ALT の母に英語で返事を書こう

3 本時の活動に取り組む。

- 手紙文を聞き、質問を考える。
生徒が書いた文例 : Do you like soccer?
- ALT の母からの手紙のコピーを見て、質問を考える。
T : Please read the letter and write the questions.
S : (既習事項を思い出し、質問を考える。: 2~3文程度)

領域の統合

- 手紙を聞かせて、質問を考えさせる。[聞くこと→書くこと]
- 手紙を読ませて、質問を考えさせる。[読むこと→書くこと]

生徒が書いた文例 : Do you eat Japanese food?

生徒が書いた返事の手紙

- ALT の母に、質問を含めた自己紹介の返事を書く。
T : Please write a letter to Mary's mother. Please try to write some questions, too. You can see your textbooks, and notebooks etc.
S : (質問を入れる場所を考える等相手に伝わる文章の流れを意識して、手紙を書く。)

Hello, Ms. Ellen Smith.
My name is Taro Yamada.
I'm twelve years old.
I'm from Japan.
I live in Gunma.
I play soccer.
Do you like soccer?
I have a dog.
I like *sushi*.
Do you eat Japanese food?
Nice to meet you.
July 2nd, 2018
Hiroto Sato

教科書の活用

- 教科書、ノート、ワークシート等を参考に、質問も含めた返事を書かせる。

相手を意識した文章構成

- 相手を読みやすいように、文章の順番を考えながら、手紙を書かせる。

4 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

- 本時の学習において、「できるようになったこと」を中心に、振り返りシートに記入する。
S : Do you ~? や Are you ~? 、What ~ do you like? を使った疑問文が書けた。[言語面]
S : 文章の流れを考えて、返事が書けた。[内容面]
S : 手紙を読んでから、質問を考えることができた。[内容面]

振り返りの工夫

- 「できるようになったこと」を意識させ、これまでの既習事項を使って、英語で手紙が書けたことを実感させる。

外国語科 学習指導案

平成30年5月～6月 第1学年 指導者 菅沼 伸也

I 単元名 「Hello, Everyone.」

II 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語科の目標及び内容

第2節 英語

1 目標 (5) 書くこと

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

2 内容 (3) カ 書くこと

(ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。

(イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。

III 目 標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア 自己紹介することを通して、Be動詞の用法を理解し、活用できるようにする。

(知識及び技能)

イ 多くの自己紹介文を聞いたり、読んだりして得られた表現を選択しながら活用し、自分の自己紹介をしたり、ALTの母親へ質問なども含めた返事の手紙を書いたりできるようにする。(思考力、判断力、表現力等)

ウ ALTの母やその国に関心をもち、手紙の返信に向けて意欲的に自己紹介文を書いている。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (1/7)

1 **ねらい** 既習の一般動詞を使って、自己紹介を含めた手紙(返事)を書く活動を通して、一般動詞の意味や用法を確認しながら、ALTの母へどんな内容の手紙を書くか考えることができるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・帯活動を行う (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般動詞を意識して使用できるよう助言する。 ○お互いに自己紹介をさせ、英語でやり取りができるよう助言をする。 			
<p>2 単元のめあてをつかむ。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて アメリカに住むALTの母に、手紙(返事)を書こう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ALTの母から生徒宛に手紙が来ていることを知らせる。 ○手紙の内容が、自己紹介になることに気付かせる。 			
<p>3 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JTEの自己紹介から、一般動詞の用法を確認させる。 ○一般動詞とその意味を問いかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて どんな内容の手紙を書けばよいか、考えよう</p> </div>			
<p>4 本時の活動に取り組む。</p> <p>(1) 既習表現を使って、自己紹介の原稿を書く。(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英文の語順や決まりを確認させる。 ○自然な英文になるように、単語を選んで使用するよう助言する。 ○3文程度書かせる。 ○正しい文を書けている生徒を称賛する。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(2) ペア活動で自己紹介をし、お互いの英文を読むことで、自分の原稿をよりよいものに修正する。(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアを替えて、活動させる。 ○一般動詞の意味や用法に注意するよう助言する。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(3) グループ活動(3~4人)で、原稿を基に自己紹介を行う。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手に伝わるように、自己紹介をするよう助言する。 ○自己紹介を聞き、内容に関する質問をさせる。 ○相手の気持ちに寄り添う活動になるように、お互いに反応(Oh, really?、Me,too. など)するよう助言する。 ○上手に自己紹介ができている生徒を称賛する。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(4) ALTの母の手紙を読む。(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな表現が使われているか、意識して読ませる。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(5) 自分の書いた手紙と本物の手紙を比較して、どんな改善ができるか考える。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手紙の書き方に気付かせる。 ○どんな内容が書き足せるか考えさせる。 ○手紙文を書き進められている生徒を称賛する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>一般動詞の用法を考えながら、相手を意識した手紙の内容を考えることができる。 <ワークシート(1)イ(4)></p> </div>			
<p>5 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「相手を意識した手紙の内容を考えることができたか」問いかける。 ☆ これまでの学習を振り返ることができた。【言語面】 ☆ 「年齢」や「出身」のことも伝えたいと思った。【言語面】 ☆ 手紙にどんな内容を書けばよいか、見通しがもてた。【内容面】 ☆ ALTのお母さんのことがよく分かった。【内容面】 			

V 本時の展開 (3/7)

1 ねらい ALTの自己紹介の内容に対する Q&A 活動を通して、興味のある事柄を Are you ~? や既習の Do you ~? などの疑問文を作らせ、質問できるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 あいさつ・帯活動を行う (5分) ○デモンストレーションを行い、会話活動のやり方を確認させる。 ○ Do you ~? や Are you ~? の疑問文等を意識しながら、会話活動をするよう助言する。			
2 本時のめあてをつかむ。(10分) ○ ALT の自己紹介と、それに対する JTE の質問のやり取りを聞かせる。 ○ ALT の自己紹介のキーワードが聞き取れるよう支援する。 ○ JTE の質問(Are you ~? や Do you ~? など)を聞き、やり取りの仕方を確認させる。			
めあて ALT の自己紹介に対して、詳しく聞きたいことを質問しよう			
3 本時の活動に取り組む。 (1) ALTの自己紹介を聞いたり、読んだりして、その内容から興味のあることについて質問文を作る。(15分) ○自己紹介を聞いた後、一人一文程度は疑問文を作らせる。 ○一般動詞と Be 動詞、What ~ do you like?を使った質問文を作るよう促す。 ○正しく質問文が書けている生徒を称賛する。			
(2) グループ活動で各自が作った疑問文を検討し、ALTに質問する。(15分) ○グループ内で、お互いに作った疑問文を比較させ、修正させる。 ○グループ内で、会話の流れができるような、質問の順番を考えさせる。 ○ALTの答えに対して、反応(Oh, really?、Me,too. など)をするよう助言する。 ○即時的な反応ができていない生徒を称賛する。			
自己紹介の内容に関して Are you ~? や Do you ~?などの疑問文を作り、質問できる。 <ワークシート・発言 (2)ア(3)>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分) ○「疑問文を作り、ALTに質問ができたか」問いかける。 ☆ Do you ~? や Are you ~?、What ~ do you like? などを使って質問できた。【言語面】 ☆会話の流れに沿って、質問できた。【内容面】 ☆聞き取りや読み取りの時にはキーワードが大切だと思った。【内容面】			

V 本時の展開 (5/7)

1 ねらい 再度、ALTの母の手紙を聞かせたり読ませたりして、その内容から興味のある事柄について、質問する文も含めた自己紹介の手紙(返事)を書くことができるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・帯活動を行う (7分) ○前時のグループとメンバーを入れ替え、やり取りを加えた自己紹介の会話活動をさせる。 ○中間評価として、モデルとなる生徒のデモンストレーションを見せ、参考にさせる。</p>			
<p>2 本時のめあてをつかむ。(3分) ○再度、ALTの母からの手紙を紹介し、返事を書くことを意識させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 聞きたいことを含めて、ALTの母に英語で返事を書こう</p> </div>			
<p>3 本時の活動に取り組む。</p> <p>(1) ALTの母からの手紙文を聞いて、内容に関する質問を考える。(5分) ○ALTの母が、生徒たちに関心をもっていることに気付かせる。 ○分かったことや聞き取れたことをメモさせる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(2) ALTの母からの手紙のコピーを読んで、興味のあることについて質問文を作る。(10分) ○手紙のコピーを配付し、内容を理解させながら読ませる。 ○既習事項を使った疑問文が書けるよう助言する。 ○正しい疑問文が書けている生徒を称賛する。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(3) ALTの母に、質問を含めた自己紹介の手紙(返事)を書く。(20分) ○既習事項を使った自己紹介文になるよう助言する。 ○既習事項を使った疑問文を含むよう助言する。 ○読み手を意識して、手紙を書き進めるよう助言する。 ○教科書の本文(Lesson 3)を参考にしながら手紙を書き進めるよう促す。 ○グループ活動も取り入れ、お互いの手紙を読み合い、修正の時間も設ける。 ○よい手紙文や、流れのある文が書けている生徒を称賛する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">Do you ~? や Are you ~? などの疑問文も含めた自己紹介の手紙を書くことができる。 <ワークシート (2)イ(3)></p> </div>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分) ○「質問文も含めた自己紹介の手紙を書くことができたか」問いかける。 ☆ Do you ~? や Are you ~? 、What ~ do you like? などの疑問文を書くことができた。 【言語面】</p> <p>☆ 文章の流れを考えて、返事を書くことができた。【内容面】</p>			

目標	以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。 ア 自己紹介することを通して、Be 動詞の用法を理解し、活用できるようにする。(知識及び技能) イ 多くの自己紹介文を聞いたり、読んだりして得られた表現を選択しながら活用し、自分の自己紹介をしたり、ALT の母へ質問なども含めた返事の手紙を書いたりできるようにする。(思考力、判断力、表現力等) ウ ALT の母やその国に関心を持ち、手紙の返信に向けて意欲的に自己紹介文を書いている。 (学びに向かう力、人間性等)		
評価規準	(1)ア 意欲的に自己紹介に取り組んでいる。また、自己紹介をしている相手に対して関心をもって、質問を考えたり、尋ねたりしている。 イ 手紙の返信に向けて意欲的に自己紹介文を書いている。 (2)ア 自己紹介をしたり、相手の自己紹介を聞いて、興味のあることについて質問することができる。 イ 自己紹介文を書き、それに質問なども書き加えた返事の手紙を書くことができる。 (3)ALT の自己紹介を聞き取ったり、ALT の母からの手紙の内容を読み取ったりすることができる。 (4)一般動詞と Be 動詞の用法を理解している。		
過程	時間 ○ねらい ①めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 〈方法 (観点)〉
つかむ	1 《単元のめあて》 ◎アメリカに住む ALT の母に、手紙(返事)を書こう。 ○既習の一般動詞を使って、自己紹介を含めた手紙(返事)を書く活動を通して、一般動詞の意味や用法を確認しながら、ALT の母へどんな内容の手紙を書くか考えることができるようにする。 ①どんな内容の手紙を書けばよいか、考えよう。	☆これまでの学習を振り返ることができた。 ☆「年齢」や「出身」のことも伝えたいと思った。 ☆手紙にどんなことを書けばよいか、見通しがもてた。 ☆ALT のお母さんのことがよく分かった。	◇一般動詞の用法を考えながら、相手を意識した手紙の内容を考えることができる。 <ワークシート ((1)イ(4)) >
追究する	[帯活動] ○ペアを替えながら自己紹介をさせたり、その内容から質問させたりする帯活動を通して、簡単な英語でのやり取りができるようにする。その際に、「つなぎ言葉」や「反応する表現」が使えるよう支援する。 2 ○ALT の自己紹介を聞かせ、自分の自己紹介を考える活動を通して、一般動詞と Be 動詞の意味の違いに注意させながら、自己紹介をさせ、前時の自己紹介シートに付け加えることができるようにする。 ①一般動詞や Be 動詞を使って、自己紹介をしよう。 3 ○ALT の自己紹介の内容に対する Q&A 活動を通して、興味のある事柄について Are you ~? や、既習の Do you ~? 等の疑問文を作らせ、質問することができるようにする。 ①ALT の自己紹介に対して、詳しく聞きたいことを質問しよう。 4 ○ALT と JTE のデモンストレーションを聞き、グループ活動で自己紹介をする活動を通して、聞き取った自己紹介の内容から、興味のある事柄について質問を考えさせたり、答えさせたりして、お互いに簡単なやり取りができるようにする。	☆一般動詞を使って自己紹介をすることができた。 ☆Be 動詞を使った自己紹介の文を書くことができた。 ☆Do you ~? や Are you ~? を使って質問できた。 ☆会話の流れに沿って、質問できた。 ☆聞き取りや読み取りの時には、キーワードが大切だと思った。 ☆一般動詞や Be 動詞の疑問文を使って質問できた。 ☆質問に答えることができた。 ☆What ~ do you like? の質問ができた。 ☆No の答えには、一文付け加えることができた。	◇一般動詞と Be 動詞の表現を使った自己紹介をし、Be 動詞を使った自己紹介の文を書くことができる。 <ワークシート・発言 ((1)イ(2)イ) > ◇自己紹介の内容に関して Are you ~? や Do you ~? 等の疑問文を作り、質問できる。 <ワークシート・発言 ((2)ア(3)) > ◇お互いの自己紹介の内容について、英語で簡単なやり取りができる。 <発言 ((1)ア(2)ア) >

		グループでお互いに自己紹介をしながら、質問したり、答えたりしよう。		
まとめ	5	<p>○再度、ALT の母の手紙を聞かせたり読ませたりして、その内容から興味のある事柄について、質問する文も含めた自己紹介の手紙(返事)を書くことができるようにする。</p> <p>聞きたいことも含めて、ALT の母に英語で返事を書こう。</p>	<p>☆ Do you ~? や Are you ~? 、 What ~ do you like? などの疑問文が書けた。</p> <p>☆文章の流れを考えて、返事を書くことができた。</p>	<p>◇ Do you ~? や Are you ~?などの疑問文も含めた自己紹介の手紙を書くことができる。</p> <p><ワークシート (2)イ(3)></p>
	6	<p>○前時で書いた自己紹介の手紙をグループ活動でお互いに修正した後に、教科書の本文を参考にしながら、一般動詞や Be 動詞の用法に注意し、よりよい自己紹介文を書けるようにする。</p> <p>友だちの自己紹介文を読んで、よりよい自己紹介文にしよう。</p>	<p>☆一般動詞と Be 動詞の違いに気が付いた。</p> <p>☆教科書から、よりよい表現が見付けられた。</p>	<p>◇一般動詞と Be 動詞の用法(意味や語順)の違いに気付き、よりよい自己紹介文に修正できる。</p> <p><ワークシート(4)></p>
	7	<p>○ ALT に自己紹介をした後で、関心のある事柄について質問したり、ALT からの質問に答えたりして、お互いに簡単なやり取りができるようにする。</p> <p>ALT に自己紹介をしよう。</p> <p>※パフォーマンステスト</p>	<p>☆ Are you ~? や Do you ~? を使って質問できた。</p> <p>☆ Are you ~? や Do you ~? の質問に答えることができた。</p> <p>☆「つなぎ言葉」や「反応する表現」を使うことができた。</p>	<p>◇「つなぎ言葉」や「間をうめる言葉」を使いながら、ALT と自己紹介をし、英語で簡単なやり取りができる。</p> <p><発言 (1)ア(2)ア></p>